

普及活動情勢報告（令和6年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

土佐市のピーマン農家で働きませんか？

～ ピーマン収穫体験会を開催 ～



農業改良普及課、JA、土佐市が協力して企画したピーマン収穫体験会を1月24日に開催し、土佐市内外から3人の女性に参加しました。営農指導員による収穫方法の説明後、JA、農業改良普及課職員が参加者各自のサポートにつき、収穫作業を行いました。参加者からは「農作業は重労働のイメージだったが、思ったより軽作業でやっていけそう」「これならピーマン農家で働いてみてもいいかも」といった感想を聞くことが出来ました。体験会后、JAは早速ピーマン農家とのマッチングに着手したとのことです。

今後も農業改良普及課は関係機関と協力し、労働力確保の取組を進めていきます。

集落営農組織をみんなで立ち上げませんか？

～いの町沖田地区での集落営農組織設立を提案～



いの町沖田地区では、中心的な農業者から「集落営農組織を立ち上げたい」との声が上がり、検討をしているところです。

2月3日、沖田地区の地権者で組織している沖田土地改良組合の田役の場で、参加者56人に集落営農組織の設立を呼びかけました。土地改良組合の組合長から組織設立の提案と、農業改良普及課から集落営農組織とはについて説明をしました。参加者からは「作業前の短い説明だけではなかなか分からない」との意見があり、3月の組合の総会でも説明するので、ぜひ参加して欲しいと声かけを行いました。

農業改良普及課は、今後も、集落営農組織について理解していただけるよう、総会案内文書に同封する資料作りや、総会当日の説明など、関係機関と連携して取り組み、組織設立に向けて支援します。

新年度の良食味米の栽培に向けて

～土佐市の土佐岩戸米営農組合通常総会の開催～



2月9日に土佐市岩戸地区で、土佐岩戸米営農組合通常総会があり、組合員22人、その他関係機関7人の参加がありました。

総会の中で、「第25回米・食味分析鑑定コンクール・国際大会 in つなん」で金賞等を受賞した喜びの報告もありました。農業改良普及課からは、今年度の水稻栽培を振り返り、労力軽減となる平箱育苗の方法やアイガモロボット（自動水田除草機）について説明しました。参加者からは物珍しいアイガモロボットについての感想などが聞かれました。

農業改良普及課は、今後も、集落営農組織の良食味米の栽培や新技術等について、関係機関と連携して支援や情報提供を行っていきます。

いの町吾北地域の耕作放棄地解消を目指して！！
～ユズ耕作放棄園の新植のための定植位置の確認～



2月14日、（農）上東のオペレーター5人が、受託したユズ耕作放棄園の抜根後、定植位置の確認を行いました。

農業改良普及課は、定植位置の決め方、植穴の掘り方や施肥の方法等説明しました。

オペレーターからは、植穴の大きさや元肥の混ぜ方等の質問が出されました。その後オペレーターは率先して定植位置を決めていき、140余りの全ての定植位置が決まりました。

農業改良普及課は、今後は苗が届き次第定植指導を行い、地域の耕作放棄園の解消に向け支援していきます。